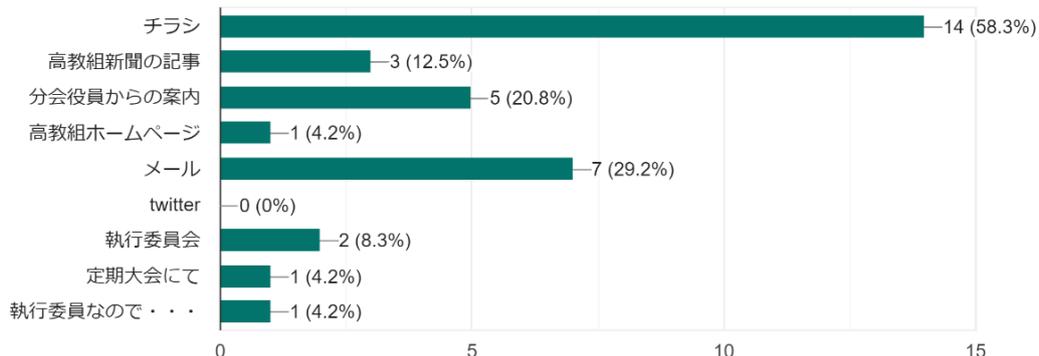


## 2021. 9. 26 未来フォーラム感想 (回答数 25) 10/5 現在

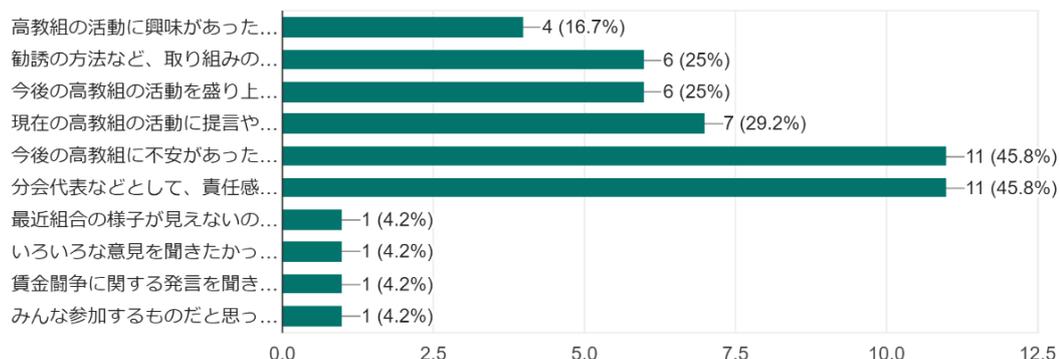
### 1 開催を知った媒体は何ですか？

24 件の回答



### 2 今回参加してみようと思ったきっかけ（参加の目的）は何ですか？

24 件の回答



### 3 フォーラムの内容やあり方、開催方法などについて、次回の開催に向けてご意見をお寄せください

- ・今回のような形でよいと思います。
- ・最初に書記長の現状報告と4人の方のリード発言があったのが良かった。何について考えれば良いか指針になった。
- ・倉科先生の高教組の存在意義のお話は、組合活動の理念を再認識するもので、毎回皆で共有すべき重要な内容だと思った。
- ・吉田先生の「命と健康を守るため」というお話も胸に迫るものがあった。風越、木下先生でしたか、「仲間と一緒にという思い・仲間との支え合い」という言葉に共感します。菅沼先生の今後最低限どこに力点を置けば良いかというお話、参考になりました。
- ・どなたのご意見もなるほどと思うものばかりで考えさせられました。ありがとうございました。
- ・〇〇先生の「これからは組合員と未組との線引きが必要」という発言は衝撃でした。もっと詳しくお聞きして考えたい点です。ぜひ次回の論点の一つに。
- ・未組、非組の皆さんの参加や傍聴もあるといいですね。
- ・様々な意見が聞けて良かったが、深く聞きたいし話したいと思った意見も有ったができなかった点が、この方式の一つの限界点かも。
- ・次はリモート飲み会で楽しく。

- ・組合でどのような活動がなされているのか、よくわかりました。会の運営やオンラインミーティングの設置について感謝申し上げます。労働三権が制限されている中での組合の賃金を守る取り組みや、他の組合員の中で賃金を守ることに興味を持っている人がいるかどうか、情報が欲しくて参加をしました。(メールでお伺いした以上のことがあるかという期待がありました。) 組合の取り組みや意義については十分伝わりましたが、期待していたことについては話題にならず残念でした。
- ・オンライン開催はありがたいです。耳だけ参加でもいいので、もっと多くの方がこういう話を聞ける機会に参加してくれるといいですね。こういうフォーラムはもちろんです、日常的に職場でいろんなことをじっくり話せる時間と心のゆとりが必要だと切実に感じます。
- ・今年の夏休み明けから3週間はオンライン併用授業、時差登校、評議員会の持ち方などいろいろが重なって特にしんどかったです。正直に言うと、今日も日曜日の午後に2時間半か…と気が重かったのですが、参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・オンラインは良かったです。部活の問題に関しては、労働組合という在り方と給特法の理念からすれば、教育意義に関係なく、長時間労働の是正はすぐに必要だと思います。
- ・本部役員の先生方準備等大変お疲れさまでした。コロナ禍の開催でZOOM利用ということで比較的気軽に参加できました。多くの先生方の意見を伺い、組合の状況を知る良い機会になりました。自身の権利意識の低さや、職場での意見交換や雑談をする場面の減少について改めて気が付きました。ありがとうございました。
- ・部活動については別でフォーラムを立てた方がいいと思います。個人的な意見としては、部活の顧問は先生にやってもらいたいです。親として、地域に預けるのは少し不安です。いろんな人いるのを見てるし、自分も社会体育に対してそんなにいいイメージがないからかもしれないですが。また、旧体制のまま(部活がめちゃくちゃ多い状態で)、法的に校長が強制的に任命ができないからと、部活顧問を拒否することはそれこそ、職場内の分断が助長されて冷静に話し合う感じではなくなってしまいます。早々に組合として話会っていったらと思います。
- ・女性の参加率も職場での比率も低い関係で、女性組合員の置かれている立場について語り切れなかった。(ここも分断ではなくて、ジェンダー的な発想のもとお話できたらと思いました)
- ・今日出た意見を絞って次回に臨んでほしい。
- ・日々自分が感じていることを言葉にしてくれた先生がいて、すっきりしました。また、部活動については意見が異なる場合もありましたが、このようにざっくばらんに意見を交わしあう機会がとても大切だと改めて実感しました。これが、それぞれの職場でも可能になると、とても良いのですが・・・次回開催される時は、意見交流の時間をもう少し多くしてほしいと感じました。
- ・オンライン会議では発言がしにくかったり、時間的に厳しいですね。できればもっと時間をとって行えればと思います。多忙化の中、校内の教員同士の連絡にもパソコンの掲示板を使ったり、レターケースにお知らせプリントを入れるだけの先生が増えてきています。根本的にコミュニケーションをとることが苦手?面倒?になっているのかなと思います。同じ学校に居ながら、文字だけで顔も見ないで済ませる先生がこれからも増えてくると学校が増々ぎくしゃくしてくる気がします。せめて同じ学校の先生とは顔を見て話をしていきたいと思っています。組合に加入、未加入を問わず、小さな声に耳を傾けていけるといいなと思いました。
- ・計画から準備からありがとうございました。有意義でした。チャットに部活動に特化したフォーラムをという声もありました。中々難しい問題ではありますが、まさに、私たちは対話によって部活動の方向性を考えねばならないと思います。

部活動の顧問を引き受ければ勤務時間外や休日が奪われるのは社会通念上必須です。個人的には、顧問をやりたいくない教員に顧問を強いてはいけないと思っていますし、組合もそこは組織として助けてあげるべきだと思います。文科省の言っている部活動の地域移行は部活をやりたい先生は兼職兼業という形で携われます。

まだまだ不透明で課題も多いですが、生徒にもやりたい教員にもやりたくない教員にも win-win だと思っています。

- このような機会を何回か作っていただきたいと思います。
- Zoom での開催が良いです。部活指導についてはこの話題のみで実施したほうが良いと思いました。
- 会長として、春先から新採の先生の勧誘、転勤者への勧誘と当たってきましたが、新採の先生には、残念ながら断られました。非常勤講師の先生には、入っていただきました。コロナ禍で、話す機会も少ないですが、また頑張ります。
- できれば対面でできればいいのですが。あと組織の拡大や強化について各分会での取り組みを交流できればと思います。あと、チャットで部活動について書きましたが、これについては言いたいことや考えてることが多くあります。ので、何らかの機会を考えてください。
- やはりオンラインではないほうがいいですね。
- こういうものも良いのじゃないでしょうか？やることに意義があります。ZOOM に慣れないところもありますが、オンラインの授業にも役立ちます。
- 論点をはっきりしていない感があった(組合活動について何でも発言というスタンスだったならそれでもよかったが)。途中で部活動について話が出たが、組合活動との関係が認識できていない参加者もいたのではないかな。もう少し時間を取る(日曜日の午後ではなく土曜日の午後四時間半程度)でブレイクアウトルームを使いもっと少人数で話し合うなど。資料も(参加者がチャットで述べていたが)組合の過去の獲得した権利などとともに、(あまり出したくはないかもしれないが)他県より遅れている点(福利面など)も出し、取り組みの助言もということがあればよかったのでは。
- 何かを決める、というものではなかったことがありがたかったです。チャットも書きやすくよかったです。こんなこと言ってしまうとアレかもしれませんが、オンラインじゃなければ参加しなかったかもしれません。コロナ後も、内容によってはオンライン形式もありだと思いました。
- お疲れさまでした。原因は多忙による組合団結分断ですかね。今日は休日なのに、機械工学科は非常勤講師を入れて 8 人中 6 人出勤しております。この時間でも 4 人活動中。減らせる仕事があれば減らしてほしい。教員になりたての頃は、旅費の入力なんてなかったし、年末調整も事務の人がやってくれてたと思う。退職後は確定申告をしなくてはいけないので、勉強にはなったけれども、めんどくさいですね。内部事務システムがレスポンスよく動いてくれればいいけど、項目変えるたびにいちいちサーバーへ行き止まるのはストレス。制度を知らないから何十枚のマニュアルを読むのが大変で、結局事務室の担当者に泣きついてしまいます。申し訳ないなと思っていますよ。クラブも好きでやっている人はいいけど、困っている人はいる。2 : 6 : 2 の法則ですね。2 割の人は、いいと思ってやっているけど、2 割の人は嫌だと思っている。6 割の人は無関心か、スペクトラムでなんとなくどちらかより。次から次へと新しい仕事が湧いてきて、分掌を整理するけど、くっつただけで仕事量がかわっていない。てか、1 人当たりの仕事が増えている。IT も疲れますよね。年配の先生は苦労されていると思います。新規採用の先生で未組の先生の共通点を探っているところですが、2 人の先生は、独身なのに教員住宅に入らず、家賃が高くて民間のアパートを選んでいました。24 時間仕事と離れられないと思われているようです。自分の時間を大切にする先生が増えたのでしょうか？青年部で楽しいことを企画して仲間意識が出来たところで勧誘してもらえたらいいなあー。他力本願ですが、、、。コロナ禍では厳しいですかね。声掛けは続けていきたいと思っています。今日はありがとうございました。
- 数年前から「俺ら大量採用世代が退職したら、高教組はどうなってしまおうんだろう」と職員室で話していたので、タイムリーな企画でした。
- 資金不足で専従を減らすと、残った方に負担がかかり過労死しないか心配です。また、書記局で一生懸命働いている書記の皆さんの雇用と待遇は是非守って下さい。
- 上部団体費とは、全教役員の人件費や省庁への交渉費などと思っていましたが、檀原先生より組合員 1 人職場

への支援、全国にある厳しい職場への応援などに使われていることを初めて知り、このことへの理解が高教組内でも広がれば、決して削ってよい費用だとは誰も思わなくなるでしょう。全教への登録人員の件にもつながる話だと思います。

- そのために組合員を増やさなくてはと改めて思いました。
- 組織率の低下については、全国に数万人はいる社会科教員の端くれとして、生徒に何を教えて来たのかと忸怩たる思いです。
- 未経験の競技の顧問になるのは何かあった時に責任がとれません。教育は免許制なのに、保健体育の免許がないのに運動部の顧問になるのはちょっと違うのかなと思います。
- スポーツ部活に熱心な先生の後任に、競技未経験の新任者があてられる事例は多いのですが、生徒・保護者とも大変不満でした。日頃熱心な先生の姿を見ていると誰も自分には無理だと思ってしまい、校務分掌委員会はどうしてもなくて最終的には新任者を充てるしかないのです。これを現場では、「新任に口なし」と人口に膾炙されています。私は両方の立場を経験していますが、罪深いことです。
- 体育の先生のなかにも次のような方がいらっしました。「自分は部活で忙しいので組合活動はあまりできませんが、組合費だけは払って高教組を支えたい。」
- 「命と健康」担当でした吉田先生が取り上げた、現職で亡くなった先生のご家族のことは知っています。「新築の家でお子さんが無邪気に走りまわって…」という言葉で見当がつかしました。実はそのS先生が初めて教員(当時は常勤講師でした)になったとき、私もその高校に転勤し向かい側の机でした。4月第1週から運動部指導が始まり、土日明けの月曜日にS先生が私に向かって「土日にクラブ指導すると疲れるね」と言っていました。その時、「適当にやっでいいんだよ」となぜ言えなかったのか、今では後悔しています。
- 部活指導に多くの時間を取られる先生方は、どうやって家庭責任を果たされているのでしょうか。配偶者はどんな立場なのでしょう。そこにジェンダー問題があるような気がします。
- 狂乱物価の時代、母がふともらした「給料が上がって良かった。これも組合のおかげだね」という一言が、中学生の私が「労働組合」というものを知ったきっかけです。社会人になったら組合に入るのは普通なんだと思っていました。未組合員の方は今までどんな経験をされて来たのでしょうか。そこに寄り添った勧誘の仕方があるのかもしれない。
- 組合加入をお願いに行く時は、この人にはこうしてみようと考え、丁寧に話をしています。が、腹の中では「コイツ、タダ乗りしやがって」という怒りが勧誘の原動力です。
- 組合加入を促進するために、本部に「何か良いチラシを作って欲しい」と言うのも良いと思いますが、一般の組合員ももっと勧誘に力を入れたいと自分も含めて思っています。誘うとなると、こちらも高教組の意義を再確認する作業が必要になり、それが元気の素になるのではないかと思います。
- また勧誘しようという元気が湧いてきたフォーラムでした。ありがとうございました。

